



石神井南中学校 学校だより

令和 2年度 第 8 号
発行日 1月28日(木)
練馬区立石神井南中学校
校長 田邊 克宣

「 まだまだこれから 」

校長 田邊 克宣

昨年の今頃は例年になく雨の日が続き、一転今年は例年になく雨の少ない年となっています。関東南部から東海地方の降雨量の少なさは降雪量に影響し、いつもなら遠くに望む富士の雪化粧も今年は整わず、なんとはなしにこの一年の非日常を象徴しているようにも感じられるのは、こちらの気持ちの表れでしょうか。

昨年3月の一斉休校から始まった感染症対策の日々は、残念ながら未だ収束の気配も窺えないまま、令和2年度も残すところあと2ヶ月となりました。生徒たちは、限られた学校生活の中で、各学年ともそれぞれに成長を遂げています。この忍耐の一年を乗り越えるべくよく努力し、3年生は、今まさに人生の新しいスタート地点を目指して、受験シーズン真っ只中を迎えています。平常心を忘れることなく、落ち着いて、自分の取り組んできたことに自信をもって最後まで頑張ってください。

今夏開催予定の「東京五輪・パラリンピック」に向けて、アスリートたちも不安と焦燥と戦いながらそれぞれの準備、鍛錬に臨んでいる中、フェンシングの日本代表である見延 和靖 選手の次の言葉が印象的でした。

「～略～今できることに最大限集中している。さまざまな制限があり、以前の6.7割くらいの練習量しか確保できていないが、きっと世界中の選手が同じような状況だろう。だとすれば、限られた日々の練習の中でいかに100パーセントを尽くしてきたかが、五輪本番の結果を左右する。五輪の舞台で活躍することを考え、日々を生きることが、コロナ禍におけるアスリートとしての正しい行動だと思う。」

アスリートたちにとっては最高の晴れ舞台であるはずのオリンピック・パラリンピックが、新型コロナウイルスのためにそれこそ逆境に置かれてしまった状況の中、自分のやるべきことに集中するのみというその意志の強さに心を打たれました。開催の可否も含めて、それこそ不安材料のたくさんあるだろう中、感染予防に細心の注意を払いながら、日々の練習に励んでいる今の姿に、エールを送りたいと思います。

生徒たちには常々、「いざという時に人は試される。」と話してきました。そして、「やれないことにこだわるのでなく、やれることを探し、今できることを精一杯やることが、明日につながっていくのだ。」と。新型コロナウイルスが蔓延し、いざという時が長引いているからこそ、我々の底力が試されているのだと思います。

全員が一概に同じ条件ではないにせよ、健康と命を守るという一点においてはなんら変わらぬ共通の目標です。皆で感染予防に努め、万が一かかってしまったら、お互い様の精神で乗り切りましょう。

学校においては、非常事態宣言再発令の下、引き続き部活動や学校行事等での制約がなされます。どうぞご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

◇表彰等の紹介◇

★令和2年度東京都教育委員会児童・生徒等表彰

3年1組 宮本愛萌さん

宮本さんは、石神井消防少年団員として、防火・防災訓練や地域の清掃活動等に継続的に参加し、人命救助のための技能習得にも励みました。

「環境美化活動や福祉活動、伝統・文化の継承活動、奉仕活動、地域社会における活動等を継続的に実践するなど、社会の一員として社会のために貢献しようとした者」という基準に該当するとして東京都教育委員会より表彰されました。

★2020年度“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

石神井南中学校生徒会

本校生徒会の継続的なボランティア活動は、これまでも様々な場面で評価されています。昨年に取り組んだ「服のチカラプロジェクト」に対する感謝状がUNHCRより届きました。



※UNHCRとは、難民支援を行う国連の人道機関です。緒方貞子さんが代表を務めたことでも知られます。

「服のチカラプロジェクト」の活動によって生徒会に送られた感謝状には「皆様からお寄せいただいた温かいご支援は故郷を追われ困難に直面している難民の人々が、未来への希望をもって生きていく大きな力となります」と記されています。

生徒会による、世界に目を向けた地道な取り組みは、確実にどこかで苦境に置かれている人たちへの力になっています。宮本さんの活動も、生徒会の活動も、それぞれ「継続」していることが共通点と言えそうです。大変立派ですね。

◇タブレット配布準備中◇

先日ご家庭にお知らせしましたとおり、練馬区から生徒用タブレットが届きました。今月末から2月初旬にかけて配布できるように、現在準備をしています。今後、区のガイドライン等を確認しながら、様々な場面で利活用していく予定です。



◇作品展示会について◇

例年秋に実施していた文化発表会の代替行事として、2月6日(土)に作品展示会を実施します。

新型コロナウイルス感染予防のため、舞台での発表は行わないなど、規模を縮小して実施します。

なお、緊急事態宣言の再発令に伴う区の方針も踏まえ、保護者や地域の方へのご参観は見送らせていただきます。誠に残念ではございますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◇新年の抱負◇

新年を迎えるに当たって、それぞれが大きな志を抱いたことと思います。1月も間もなく終わろうとしていますが、順調に取り組んでいますか。

冬休みのしおりから、皆さんが記した抱負をいくつか紹介します。



「今年は挑戦の年だと思います。環境が変わり、慣れないことだらけになると思うけど、挑戦することを恐れず、貫き進んでいきたいです」

「2021年、1、2月は受験勉強に追われる日々だと思いますが、『初志貫徹』、自分が決めた高校に入り、その後も将来のことを考え続けながら頑張っていきたいです！」

教職員一同、みなさんを応援しています。(副校長)